

まき

発行所  
西蒲原郡  
卷町中央公民館  
編集人 北川郡司  
印刷所 北洋印刷株式会社

反收五石八斗一升一合

稲にそとく愛情

若い篤農家の努力実る



食糧自給の困難なわが国で食糧増産は重要な課題であり、農家は全力を出して増産に励んできた。一方人口は年々ふえ食糧の増産を

愛情もそれだけ根ぶかく、多収穫の理想への努力が続けられてきたことは真に頭の下る思いがする。若い篤農家大宇並木の石田三智雄氏は多年研鑽、血のじむ研究を続け今年も県下一の多収穫の金字塔をたてられた。「高い木には深い根がある」という。氏の業績も一朝にしてなつたものではないと思う。その営々として止むことのない稲作研究の多年の歩みを伺うべく氏を訪ねた。……(竹内)

問 毎年秀れた稲の増収をあげ、今年も県下一の成績という金字塔をたてられ食糧増収のため大へん有難いことです。それにしましても絶えざる御研究の結果と思いますが、どんな

石田氏 昭和二十四年ごろ稲について何も分らない若い我々が研究してみようとしてNP Kクラブを作りましたのでそれに入会、農業改良普及事務所を通じ

糧を増すことであり、一面農家経済の向上にもなるからです。何といたつても慣行農法を排して普及員の指導によつて農業経営を行つたことが大きい良結果を生みました。

問 昭和二十八年年度の成績はどんなでしたか

石田氏 品種は「こしほなみ」(晩生)で苗は簡易折衷苗代で、一坪一合まき一反十坪苗代の条件はよくありませんでしたが簡易折衷苗代により克服した。肥料は二十七、八年には穂肥に重点をおき元肥は完熟堆肥五〇〇貫匁で年々多くしていき

土地の条件はよくなかつたが用水は良く排水は悪かつた。耕土の深さは五寸。耕耘機を使用し、その後牛馬ですき耕、用排水には充分意をつくし、根ぐさを防ぐため三日に一回ぐらい新しい水を入れ直した。

問 稲の出来方はどんなでしたか

石田氏 稲え方は並木稲え巾一尺株間五寸五分でした。青田頃は割合大したことはなかつたが、稲の出来方はこの頃から極めて増収型であつた。防除は全然しなかつた。二十八年度の稟審査は四石九斗

した。

問 二十八年度の反省をおきかせ下さい。

石田氏 病虫害の防除をしなかつたこと、一本植えのため分けつにむらが多かつたことでした。

問 今年の稲作とその反省などを

石田氏 品種は農林三十二号で晩生、苗は二十八年と同じやり方で肥料は過石を少々少な目、チツソは多少少な目、堆肥八〇〇貫匁、軍配配合硫酸換算六貫匁、硫酸二貫匁、カリ三貫匁、穂肥硫酸三貫匁(これはむら直しを兼ねて)カリ一貫匁です。

土地は巾八寸深さ一尺の溝を廻り排水をよくした。稲の出来方ですが、田植は六月三日で並木稲え(一尺×五寸)天候は稲に概ね順調だつたが、秋には台風の影響が多少あつたよく分けつし、二十八年と同じように増収型であつた。

問 防除は徹底的にやり

石田氏 ホリドリル二回、セルサン石灰二回、BHC一回をまきました。

問 今年の収穫成績はどんなでしたか

石田氏 郡審査の結果五石八斗一升一合でした。

問 御研究と努力の結果の秀れた収穫成績だと思いますが、例えばよくいわれる秘訣があるのですか

石田氏 秘訣というものは全然ありません。農業改良普及員の御指導に従ひ科学的な方法でやつているだけで科学的にやつていけばどなたでもできることです。

問 參觀者が大勢来られて大へんだったことと思いませんか

石田氏 多い日は千人以上も来られました。余り大勢の方々で支障のあつたこともありましたが。

かも誇ることない謙虚さに頭の下る思いが幾度かした。よき科学的な指導を謙虚な心を以つてのぞみ、しかもたぎるような熱情を以つて稲に生きる氏の精神こそこの金字塔をうちたてたものと私たちはふかく信じながら、雲間よりみえる青い空をふりかえりみつづ初冬の田の道を戻つた。

巻病院開院さる

町立巻病院はこの程完成、今日二十日午前十時より同院に於て関係者多数を招き開院式が挙行される。

同病院の施設内容は病室十五、ベッド七十四、事務室、薬局、内科診察室、外科診察室、検査室、準備室、脱衣室、手術室、レントゲン室、治療室、産婦人科室、婦人科処置室、待合室、浴場、厨房室、厨房事務室、洗面室等で総坪数二二六、四坪である。

なお初代院長に医博大藤一夫氏が決定した

記者 いろいろ貴重なお話を伺いまして有難うございました。御健闘をお祈りいたします折から降りしきる霰まじりの強雨の中を私たちは氏のお宅を辞し稲を作る人の稲に對する強い愛情と食糧増取への熱願に奮闘する氏の姿をもう一度思い浮かべた。淡々と語られその成績をいさ

先日NHKの「話の泉」で、「結婚式の奇習」が出て「花むこが細番かなにかして、合所でウロウロしている」といつたら、すかさずサトウハチローが「うらやましい！」と叫んだので聴衆一同更に大笑いをしていた。

それがそうあつたに、それが相当する意義が勿論あつたのである。奇習となつたからには、その意義はもうなくなつたと考へてよい。聖書に「新しい酒は新しいかめに」入れべきである。竹野町青年団でこの問題で、しかもロールプレイングでとりあげ、以後この「奇習」を村から追放してしまつたという。今年も十一月となり結婚式の奇習も多くなりつてきたが、それは経費の節減に重点をおいているようでそれはそれで勿論非常に結構な話であるが、こうした本質的なものに眼をむけ、しかもロールプレイングなど用いて心構いまで鮮やかに解決した竹野町青年団にもまた心からなる拍手を送りたいものである。

火の用心



先日NHKの「話の泉」で、「結婚式の奇習」が出て「花むこが細番かなにかして、合所

それがそうあつたに、それが相当する意義が勿論あつたのである。奇習となつたからには、その意義はもうなくなつたと考へてよい。聖書に「新しい酒は新しいかめに」入れべきである。竹野町青年団でこの問題で、しかもロールプレイングでとりあげ、以後この「奇習」を村から追放してしまつたという。今年も十一月となり結婚式の奇習も多くなりつてきたが、それは経費の節減に重点をおいているようでそれはそれで勿論非常に結構な話であるが、こうした本質的なものに眼をむけ、しかもロールプレイングなど用いて心構いまで鮮やかに解決した竹野町青年団にもまた心からなる拍手を送りたいものである。

先日NHKの「話の泉」で、「結婚式の奇習」が出て「花むこが細番かなにかして、合所

それがそうあつたに、それが相当する意義が勿論あつたのである。奇習となつたからには、その意義はもうなくなつたと考へてよい。聖書に「新しい酒は新しいかめに」入れべきである。竹野町青年団でこの問題で、しかもロールプレイングでとりあげ、以後この「奇習」を村から追放してしまつたという。今年も十一月となり結婚式の奇習も多くなりつてきたが、それは経費の節減に重点をおいているようでそれはそれで勿論非常に結構な話であるが、こうした本質的なものに眼をむけ、しかもロールプレイングなど用いて心構いまで鮮やかに解決した竹野町青年団にもまた心からなる拍手を送りたいものである。

私はこう考える

実生活の中から

— 学級生の声 —

★ 農繁期も終り、これから各地で青年学級が本格的に開★
★ かれようとしています。果して青年学級は今のままでい★
★ いだらうか、これから始まる青年学級についていろいろ★
★ 御意見御希望をきかせていただいた...

田辺 一彦 漆山
一、一回か二回か
二、不適当
三、実際に則したものの
で問題解決のための
共同学習でありたい
感想 青年学級不振の
原因の一つに形式に
拘泥しすぎて実態と
かけ離れていること
が挙げられると思う
特に農村の青年男女
ともにあまりにもき
びしい現実のため、
呑気なことに耳を傾
けておれないのが実
情だ。特に女子の場
合、お嫁入りの仕度
など多忙で農閑期と
いつても観念的傾向
の強い学習内容には
無関心であるといふ
のが本音らしい。
有坂 哲也 等
一、一回か二回
二、適当

一般教養
感想 いままでのよう
な講師から話を聞く
と言うことより皆ん
なで座談会的に話し
合い、研究し合ふこ
とが良いと思ひます
本田正 角田浜
一、五回か六回
二、適当

「はあッ？」
「それがね、とつても
人なつてくつて道つて
とらましよう。〇区の
〇〇さんでしたわ」
「じゃあ公民館の方で
連絡をとつていただけ
ましようか」
「そうか、それで
「さうです、ガアガ
アうるさがるれたカラ
スも無事に飼主の許に
帰つたと言ひ公民館
に於けるある朝の出来
ごとである。
カラスの飼主を思い
出した私のよろこび、
いや気味に連絡いた
いたことよろこび、
言えしれぬよろこび、
でその日一日全く愉快
でした。又電話下さつ
た方の「おやお願ひ
します」も随分明るか
つたように感じました
ある日この話を公民
館に遊びに来られた町
のHさんに話しました
Hさんいわく「さう
ですかカラスをね、お
もしろい公民館もそこ
迄認識されましたか」
と私はHさんの言わ
れるそれ以上に本當に
気軽にカラスの飼主を
公民館に問い合せて下
つた事であるが、町の
皆さんからも、本當に
気軽にカラスの電話を
下さつた方の様に公民
館を利用していただけ
たり、何か御用命いた
される様になつたらと
... (巻公民館主事)

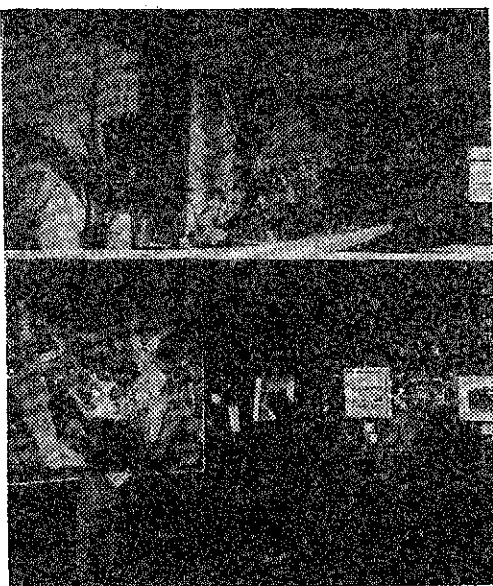
公民館と言うところ

(カラス問答より)

北川 郡 司
「モシモシこちら公
民館ですか」
「あ、私〇〇区の〇〇
ですが一寸おかしな事
です」
「はあッ？」
「それがね、とつても
人なつてくつて道つて
とらましよう。〇区の
〇〇さんでしたわ」
「じゃあ公民館の方で
連絡をとつていただけ
ましようか」
「そうか、それで
「さうです、ガアガ
アうるさがるれたカラ
スも無事に飼主の許に
帰つたと言ひ公民館
に於けるある朝の出来
ごとである。
カラスの飼主を思い
出した私のよろこび、
いや気味に連絡いた
いたことよろこび、
言えしれぬよろこび、
でその日一日全く愉快
でした。又電話下さつ
た方の「おやお願ひ
します」も随分明るか
つたように感じました
ある日この話を公民
館に遊びに来られた町
のHさんに話しました
Hさんいわく「さう
ですかカラスをね、お
もしろい公民館もそこ
迄認識されましたか」
と私はHさんの言わ
れるそれ以上に本當に
気軽にカラスの飼主を
公民館に問い合せて下
つた事であるが、町の
皆さんからも、本當に
気軽にカラスの電話を
下さつた方の様に公民
館を利用していただけ
たり、何か御用命いた
される様になつたらと
... (巻公民館主事)

健康で表彰された方々

- 十一月八日午前十
時より巻小学校に於
て巻町の健康家庭及
健康児童の表彰式が
行われた
健康優良児童の部
佐藤隆平、石田トシ子
漆山小学校
栗本昭二、間宮豊美
入徳館小学校
金子剛、青津節子
竹野町小学校
石崎勝栄、細川綾子
健康優良児童の部
高杉勝幸、平原重
子
四ツ郷小校
阿部清、宮野祥子
浦浜小学校
阿部清、宮野祥子
巻中学校
治田良夫、高橋美紀
子
巻町湯東村組合立
子
漆山中学校
樋口泰一、田辺紀子
磯岡中学校
岸本政治、岩波厚子
浜松中学校
鈴木篤夫、酒井ヨシ
浦浜中学校
阿部英、阿部サチ子
乳児の部
巻
佐藤邦彦、
野沢茂、池田恵子
漆山
田辺久、土田敏子
峰岡、伊藤イッ子
西山康夫、川村利恵
子
角田 渡辺洋子
高杉幸、大越晃、佐
藤隆平
巻地区 大岩謙次
郎さん外五一家庭
漆山地区 加藤四
郎さん外二一家庭
峯岡地区 本間福
二さん外三一家庭
松野尾地区 山本
正二さん外四一家庭
角田地区 田中雄
卓さん外四一家庭
浦浜地区 宝井ミ
ユさん外二五家庭
中郷屋
沢栗限一さん



文化祭盛ん

浦浜地区
三日午前十時より浦
浜支所に於て講演会を
開く。演題「明かるい
村造り運動」について
講師は県社会教育主事
亀山末松氏、聴衆約五
十名。
三日浦浜小学校に於
て婦人会と共催の生花
展を開く。
講演会、生花の展覧会
を催した。三日の浦
浜は終日人の動きを見
せていた。
角田地区
角田地区では十三日
より角田分館、越前浜
分館、四ツ郷分館と
これの順を追って農
産物展覧会を開き日頃
の臍自慢を競った。

松野尾地区

漆山地区

松野尾地区の文化祭
は来る二十三日、二十四
日の両日松野尾小学校
に於て開く予定。いま
その準備で係では大童
である。主なものは、
農産物品評会、写真展
書道展、絵画展等であ
る。
巻地区
巻地区では五日の郡
菊花展を皮切りに六日
七日の洋画展、写真展
書道展、切手展、巻町
菊花展、義太夫の会、
茶の会、生花展、邦楽
鑑賞の夕、十二、十三
日の郷土史料展と続き
この間からまったり等
もあつて連日人の波で
ごつたがいた。

一位は竹野町青

創立八十周年

更十九日は
婦人会共催の
講演会を巻小
学校で開く。
講師は県の文
書広報課長片
桐健三郎氏、
二十三日は俳
句大会を公民
館で、同夜は
巻小学校でミ
キサーの演劇
がある。「な
だれ」「教育
だれ」が公演さ
れる。文化祭の
最後を飾つて
二十七日夜同く巻小
学校に於て巻劇研が公
演する「シガラの娘」
「麦ふみ」が予定さ
れている。
小学校児童作品展、
中学校生徒作品展、剣
道大会、将棋、囲碁大
道大会、生花室、趣味余技
室、書画室、青年団、
婦人会作品展、体験発
表会、短歌、俳句の会
公民館室、ニュース室
一位は竹野町青
マラソン大会
稲作も終りほとと
息、峯岡公民館ではさ
る十四日各部落経由(竹
野町、仁徳、布目、稲
島、平沢、福井、鷺ノ
木、竹野町)青年マラ
ソン大会を開く。

眞實の灯求めて

郡青少年講開かる

この前日来の雨もあが
り好天に恵まれて一斉
にスタート、多数字民
の声援もあつて数々の
区間新記録を生むなど
近時青少年団体の活
躍も戦後の昏迷期を脱
しようやく落つきを見
いことであるが、これ
盛会であつた。
成績は次の通り。
一位 竹野町青年団 A
二位 稲島青年団
三位 竹野町青年団 B
をさらに深め、高めて
行く為には今後幾多の
研究を要する問題が内
蔵している。各青少年
団体の指導者が相寄り
これからの問題を一つ一
つひきだしお互に話し
合つて解決への糸口にな
ればと来る二十六日よ
り三泊四日間に亘つて
越前浜の保育所を会場
に西浦原郡青少年団体
指導者講習会が開かれ



といつて、こんどお
かあさんをつれてき
ました。勝司君のお
かあさんも、おとう
さんも、もうとしよ
りです。おとうさん
は五十六でおかあさ
んは五十五です。二
人でいろいろいろと
話をして下さいまし
た。
むかしの学校は、
こんせんじだつたの
だそうです。勝司君
のおとうさんとおか
あさんは、井田和彦
君の家のところにあ
つた学校へかよつて
いまの学校へは、は
ん年はいつたのだそ
うです。そのころ学
校は二かいに二つ下
に二つ教室があつて
これにうんどうじよ
うがあつてそこにみ
んなあそんでいたの
です。学校の中はガ
ラス戸がすこしあつ

へはまると、よその
のきばでコンコンと
たいておとしまし
た。小さい子はよく
ころんでない帰つ
たのでふらふらをか
ついでいききました。
ちようめんのかわり
に石ばんと石ひつを
もつていつたのだそ
うです。石ばんとい
うのはちようめんの
かわりに字を書くも
ので黒い板のような
ものをおりたたんだ
ものです。石ひつは
はくほくのかたい細
いもので、それに書
いてまちがつたりい
つばいになると、こ
くばんけしの小さい
ようなものでけしま
した。私もそんな話
をきいたら書いて見
たいと思ひました。
二人とも「ほんとい
まの子どもはしあ

「はあッ？」
「それがね、とつても
人なつてくつて道つて
とらましよう。〇区の
〇〇さんでしたわ」
「じゃあ公民館の方で
連絡をとつていただけ
ましようか」
「そうか、それで
「さうです、ガアガ
アうるさがるれたカラ
スも無事に飼主の許に
帰つたと言ひ公民館
に於けるある朝の出来
ごとである。
カラスの飼主を思い
出した私のよろこび、
いや気味に連絡いた
いたことよろこび、
言えしれぬよろこび、
でその日一日全く愉快
でした。又電話下さつ
た方の「おやお願ひ
します」も随分明るか
つたように感じました
ある日この話を公民
館に遊びに来られた町
のHさんに話しました
Hさんいわく「さう
ですかカラスをね、お
もしろい公民館もそこ
迄認識されましたか」
と私はHさんの言わ
れるそれ以上に本當に
気軽にカラスの飼主を
公民館に問い合せて下
つた事であるが、町の
皆さんからも、本當に
気軽にカラスの電話を
下さつた方の様に公民
館を利用していただけ
たり、何か御用命いた
される様になつたらと
... (巻公民館主事)

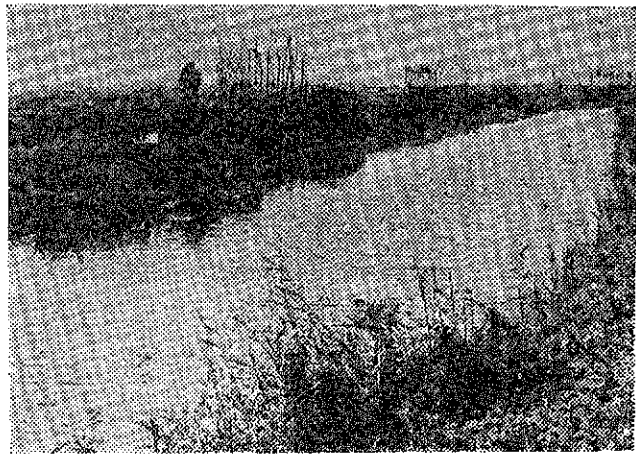
新編日報の森田先生
県教育庁の伊藤、亀
山先生外多数が予定
されてゐる。
◎詳しいことは各公民
館でお聞き下さい。
松野尾公民館
松野尾公民館ではさ
る三日午前十時より小
学校に於て七十才以上
の方々九十八人をお招
きして敬老会を開催。

# 全国公民館大会に参加して

樋口 弘 雄

第四回全国公民館大会は去る十月八日より三日間東京お茶の水女子大学を会場として開催公民館十年の歩みを厳しく反省し、当面してあるあらゆる課題を徹底的に研究討議し新しい発展への強力な道標をうちたてる。特に公民館をめぐる行政財政面の方策を研究する、と全国各地より馳せ参じた数千の公民館関係者によつて熱心に討議された。開催の企図にも適正な運営のため理論的技術的な研究を広く学識経験者の協力を得て」とあつてこの大会に文部省は勿論、各政党、大学教授報導関係者が参加して下さつたことは願ひて我々にも得る所が多かつた。社会教育のため身を挺して居る白髪の竜野会長の熱意も、全体討議に又分科会に熱心にモして居た婦人審議員の姿も大会の印象として今も消えない。

町村の公民館に關係する者にとつて痛切に感ずることは、法律に「国及び地方公共団体が共同の任務とし公民館



等の社会教育の施設を設置し町村民が實際生活に即する文化的教養を高め得るような環境を整えねばならぬことを規定しながら、専ら町村にのみその責任を転嫁して果は勿論國のこれに対する方策の極めて貧弱な事であつたが、数度の全国大会にもこの問題がとり上げられ、今回の東京大会もこの問題が山で「分科会は八つに分れそ

れ」研究発表も併せ熱心に討議されたが何れ機を見てお伝えしたいと思う。

会場で聴いた事だが「お茶の水女子大学の講堂は勿論都内で開催される各種の全国大会は期間が数日に亘る場合日を重なるにつれ参会者が減るのに全国公民館大会は初日と参加者の数が衰りない」とは如何に盛られた問題が関係者にとつて切実な課題であつたか又如何に参加者が熱心であつたかを知るバロメーターであつた。

(峰岡公民館長)

お詫び  
先号に掲載いたしました巻の巻頭長寿番付中こちらの手違いから掲載もれがあつたのでお詫び申し上げます。

図書案内  
道ずれ  
ウオーナー著

たも木句会抄  
十一月五日夜 於 秀居

今年も誕生忘れ日が過ぎて草霜枯る、  
納豆が歯ぐきももる 秋夕べ 独り 翠城  
鳩の夫婦がむつまじく公孫樹の実ぼた／＼落ちる 法全  
白い山茶花いつぱいさくこゝの親父善人 法全  
富有柿一つ一つもぐ家も空にも欠けし色彩 曙山  
青磁の壺への幼想雨がまるく降つて 木魚  
菊も作らず年寄りてぐつとこらへる胸 金剛

衛生列車はドイツ戦 標の心理を見事に描き線を負傷兵を満載して わけている。みなぎる走つてゆく、自分の功 リリシズムとさりげな績ばかり誇る軍医、恋 いユーモア、闊秀作家をしてしている看護婦、親 の筆は、ソビエト人の切なかつたとき等各人各 典型をあますところな

く描いた作品である。(井上満帆)  
その他いろいろの本が揃つています。(巻公民館)

## 堆肥つみ急ぐ

黄金の稲束を秋の陽に輝かしていたハザ木が解かれ、霊木(タモギ)が、あの特有の枝を冬空にさしのべて木枯の吹きさらすまゝに立ちならんでいる。低く垂れた雲間を雁が渡つてゆく。

刈田には、肥ニオが点々と教を増してゆく。

大豊作の呼び声が、どれだけ農家をうるおしたかは知らないけれど、たくまし

い農民の努力は、最早来年の生産に気急わしい日を送つている。

町では、七五三のあでやかな晴着が人々の目をみはるとき、寺や神社を間借りした村の托所では、寒むくとした子供達の臍が心をうつ。

地面に散りしいた銀杏の葉だけが美しい。

櫓火を囲んで、嫁取りの話が、とほしい農家の話題



【編集後記】  
巻の若い篤農家、と言えは、あゝ大字並木の石田さんでしよう。と言われる程氏の稲作は、あまりにも有名である。ともかく氏は今年も又反収五石八斗一升一合と新潟県一の多収獲の金字塔をうちたてたのだ。この輝ける業績、決して一朝にしてなるものではない。漆山の田辺両君からひたすら稲作研究にうちこむ氏の苦心談を伺つて貰つたが収穫期の終つたいま、今年の稲作の反省と来年度への糧ともなれば幸いと並木の篤農家石田さんを訪問した次第。